

令和6年度厚生労働科学研究費補助金 (女性の健康の包括的支援政策研究事業) 分担報告書

女性の若年時のやせに係る疫学研究

研究分担者 石塚一枝 (国立成育医療研究センター社会医学研究部)
研究分担者 森崎菜穂 (国立成育医療研究センター社会医学研究部)
研究協力者 齋藤匠 (国立成育医療研究センター教育研修センター)
研究協力者 寺島智美 (国立成育医療研究センター社会医学研究部)
研究協力者 オーレリー・ピエバッシュ (国立成育医療研究センター社会医学研究部)

研究要旨

本研究は、日本人青年を対象とした SATAQ-4R の日本語版を開発し、検証することを目的とした。2023 年に 10～17 歳の青年を対象に調査を実施し、参加者は自己報告式の質問票に回答した。探索的因子分析と確認的因子分析を用いて因子構造を評価し、クロンバックの α を用いて内的一貫性を評価し、8 項目の ChEAT と ChEDE-Q8 との収束妥当性を評価した。EFA および CFA では、女兒は 5 因子 23 項目、男児は 7 因子 23 項目であった。信頼性は、女子および男子の下位尺度について内的一貫性が示された。妥当性は、SATAQ-4R 下位尺度と外部尺度との有意な相関によって示された。

A. 研究目的

Sociocultural Attitudes Toward Appearance Questionnaire (SATAQ) は、身体イメージの障害や摂食障害に対する社会文化的リスク要因としての外見の理想化と外見に対する圧力の内面化を評価するために広く使用されている測定ツールの一つである。しかし、最新版の質問票である SATAQ-4 改訂版 (SATAQ-4R) は、まだ日本人に対して開発、検証されていない。本研究では、日本の青少年に対して SATAQ-4R の日本語版を翻訳し、その心理測定特性を検討し、実施した。さらに、2023 年度参加者に対して、2024 年度はリスク因子の同定を行うためフォローアップ調査を実施した。

B. 研究方法

① 2023 年調査の分析

- ・ 使用データ：層化二段無作為抽出法により、全国 50 自治体から選ばれた小学 5 年生～高校 1 年生の子ども およびその保護者(郵送調査)からの回答結果 1,368 名分
- ・ 研究デザイン：質問票調査 (population-based study)
- ・ 男女で質問票が異なるため、男女別で解析を行った。
- ・ 因子構造は探索的因子分析および確認的因子分析を用いて評価した。
- ・ 内的整合性は Cronbach のアルファ係数を使用して評価した。
- ・ 外的妥当性は、Eating Disorder Examination- Questionnaire for children

and adolescents、Children's eating attitudes testを使用した。

・SATAQ-4R は原著者から使用許可を得た後、研究者によって日本語訳した後、別のバイリンガルにより逆翻訳し、native English speaker を含めた複数の研究者が訳のチェックを行った。

②2024年調査の実施

①の対象者である2023年に調査を実施したコホート[十代児童への全国コホート(約2000人)に2024年秋調査を実施した。郵送による質問票調査で、やせの尺度(SATAQ-4R)を実施した。

(倫理面への配慮)
成育での倫理承認済み

C. 研究結果

①2023年調査の分析

EFA および CFA では、女兒は5因子23項目構造、男児は7因子23項目構造が支持された。信頼性分析では、女子および男子の下位尺度について十分な内的一貫性が示された(クロンバックの α = 女子 0.49-0.96、男子 0.76-0.95)。外的妥当性は、SATAQ-4R 下位尺度と外部尺度との有意な相関によって示された。

②2024年調査の実施

昨年度に引き続き、本年度も、親子に対するボディイメージや体格に関する調査を実施した。2606名に配布し、親1551人から体格に関する情報、こども1500人からボディイメージに関する回答を得られた。

D. 考察

男性のEFAは、元の尺度と一致する7因子構造を示したが、女性参加者のEFAでは、元の研

究で女子大生に観察された7因子構造ではなく、5因子構造が示された。この理由として、発達や文化的影響を反映している可能性が示唆された。2023年に得られた情報に2024年度調査データを組み合わせることで、やせ予防につながるリスク因子の同定が可能となる。

E. 結論

SATAQ-4R の下位尺度と外部尺度との間に有意な相関があることを証明した。今後は、縦断調査データを分析し、女性のやせのリスク要因を同定していく予定である。

【参考文献】

- Schaefer, L. M., Harriger, J. A., Heinberg, L. J., Soderberg, T., & Kevin Thompson, J. (2017). Development and validation of the sociocultural attitudes towards appearance questionnaire - 4 - revised (SATAQ - 4R). *International Journal of Eating Disorders*, 50(2), 104-117.
- Cihan, B., Bozo, Ö., Schaefer, L. M., & Thompson, J. K. (2016). Psychometric properties of the Sociocultural Attitudes Towards Appearance Questionnaire-4-Revised (SATAQ-4R) in Turkish women. *Eat Behav*, 21, 168-171.
- Convertino, A. D., Gonzales, M., Malcarne, V. L., & Blashill, A. J. (2019). A psychometric investigation of the Sociocultural Attitudes Towards Appearance Questionnaire-4-Revised among sexual minority adults in the U.S. *Body Image*, 31, 96-101.
- Stefanile, C., Nerini, A., Matera, C., Schaefer, L. M., & Thompson, J. K. (2019).

Validation of an Italian version of the Sociocultural Attitudes Towards Appearance Questionnaire-4-Revised (SATAQ-4R) on non-clinical Italian women and men. *Body Image*, 31, 48-58.

5. Neves, C. M., Meireles, J. F. F., Da Rocha Morgado, F. F., Amaral, A. C. S., & Ferreira, M. E. C. (2020). Translation, Adaptation and Psychometric Properties of SATAQ-4R for Brazilian Children. *Psicologia: Reflexão e Crítica*, 33(1).

6. Huang, H., Liu, Z., Xiong, H., Herold, F., Kuang, J., Chen, E., . . . Zou, L. (2023). Validation of sociocultural attitudes towards appearance questionnaire and its associations with body-related outcomes and eating disorders among Chinese adolescents. *Frontiers in Psychiatry*, 14.

F. 研究発表

1. 論文発表

投稿準備中

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし